

## 未来から今をながめる

「ハーバードの人生を変える授業」(だいわ文庫 タル・ベン・シャハー著)  
という本の中に、最後の 51 番目のワークとして、次のような課題がありました。

「貴方は、今 110 歳です。先日タイムマシンが発明され、それを使う最初の一人に選ばれました。この本を最初に読んだ日にあなたを戻してくれるそうです。経験豊かな人生の知恵をもったまま、あなたは過去に戻り、若く経験不足の自分自身と 15 分間過ごすことができます。あなたは、若いあなた自身に何を伝えますか。どんなアドバイスをしますか。」

人生 100 年時代になりました。

私たちが 110 歳を超える頃に、本当にタイムマシンが完成しているかもしれません。さて、大学生ほどの若い自分に何を伝えに行きましょう。

私だったら・・・。

君は、背も低くて体も弱い。

学歴があるというほどでもないし、とにかく貧乏だ。

でも、そこそこ働いて、結婚もできる。

子どもも無事成長し、60 歳を超えれば孫もできる。

だからそんなに未来を悲観せず、安心して生きなさい。

と、言いに行くのでしょうか？

でも、そんなことを若い自分に伝えたら、

きっと、何も努力しない人間になってしまいそうな気がします。

それでは、何を伝えに行きましょうか？

いろいろ苦勞はするけれど、

だいたい大丈夫だから、大騒ぎせず、日々シッカリ生きていきなさい。

とでも言いますか。

この本の作者は、マーク・トウェインという作家の言葉を最後に伝えています。

「80 歳で生まれて徐々に 18 歳になっていくのであれば、人生は無限に幸福となるだろう」

未来から今をながめるように生きると、本当に幸福になれるのでしょうか？

皆さんだったら、若い自分にどのようにアドバイスに行きますか？

そして、80 歳から若返る人生ってどう思いますか？ (M. Y)